

生体薬物制御学講座 — 疾患薬理制御科学分野

Department of Personalized Medicine and
Preventive Healthcare Sciences

研究室のビジョン

疾患発病予防の個別化と発病後の治療個別化

研究室のミッション

治療と予防の個別化方法論を“ヒト”で明らかにする



主宰者は、これまで基礎研究の場(北海道大学薬学部)と臨床現場(千葉大病院)において、個別化薬物治療の研究に携わってきました。臨床現場では薬物応答性の個体差に関する遺伝的情報を活用することで、薬物治療の問題を解決できる例も経験しましたが、個体の体質を規定する生殖細胞系列変異(遺伝子多型)は、単独では効果や副作用、あるいは至適投与量といった薬物応答性を予測する精度は低く、多くの場合患者さんの背景の違いなど非遺伝的要因の影響を強く受けることを実感しました。同時に、今後は病気になって治療することよりも、発病しないよう予防することの重要性を痛感しました。

これまで臨床現場では、患者さんが対象であり、薬物治療の個別適正化のみに焦点を当ててきましたが、岡山大学では、未だ発病していない方々にまで対象を広げて、疾患予防の研究にも取り組むことにしました。本分野では、疾患予防の個別化に発病後の個別化医療に繋がる科学的根拠を創出し、社会に向けて発信していきたいと考えています。

現在の主要な研究テーマ

1. 食品中機能性成分による食後血糖上昇抑制の解析法開発と応答集団の特性評価
2. 非薬物的介入による血圧抑制の解析法開発と応答集団の特性評価
3. バイオマーカーを利用した抗癲癇薬体内動態予測に関する研究
4. 睡眠改善薬の血中濃度測定法の開発と臨床応用に向けた研究
5. 肺がん組織における薬物動態制御分子の発現と患者予後の関連性に関する研究
6. 腎癌組織における薬物動態制御分子の発現と患者予後の関連性に関する研究
7. PCI施行患者における遺伝子情報を用いた抗血小板薬適正使用に関する臨床研究



有吉教授



藤吉
准教授



松本助教



OKAYAMA
UNIVERSITY

連絡先: 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 疾患薬理制御科学

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 基礎医学棟3F

E-mail: pmaphs.ou@gmail.com

URL: <https://www.pharm.okayama-u.ac.jp/lab/pmaphs/index.html>

Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences
OKAYAMA UNIVERSITY